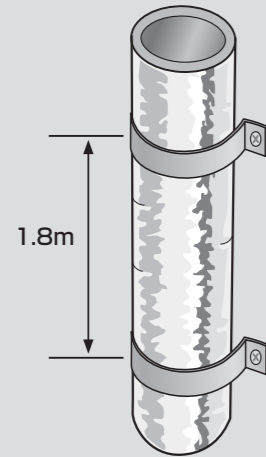


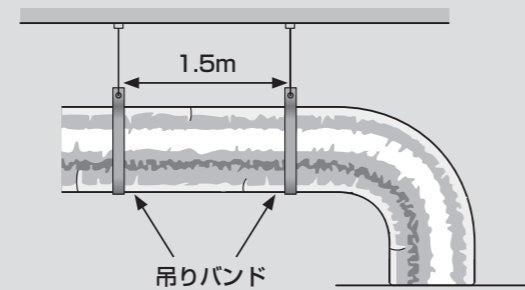
## ⚠ 施工時の注意点

縦配管をする際は、1.8m以内で支持を取って下さい。

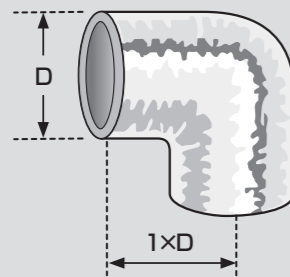


吊り間隔は1.5m以内にして、吊りバンドは幅3.8cm以上の物を使用して下さい。

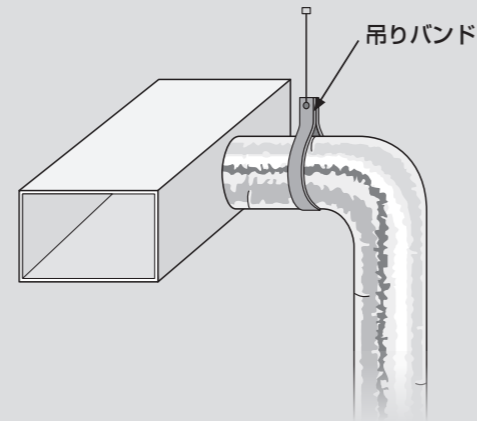
※金属製の吊りバンドはダクトの外側被膜を傷つける恐れがありますので使用しないで下さい。  
(外側被膜が破損した場合は、アルミテープ等で補修して下さい)



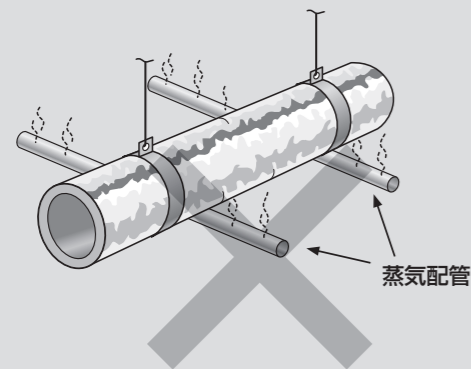
最小曲げ中心Rはダクト径より大きく取って下さい。



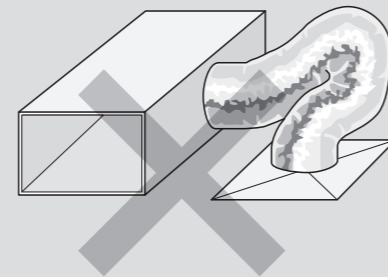
下方向へ配管する際は、カラーのエッジでダクト内側を傷付けてしまう恐れがあるので図の様に支持を取って下さい。



高温を発生するファーンレス、ボイラー、蒸気配管等の近くへの設置は避けて下さい。



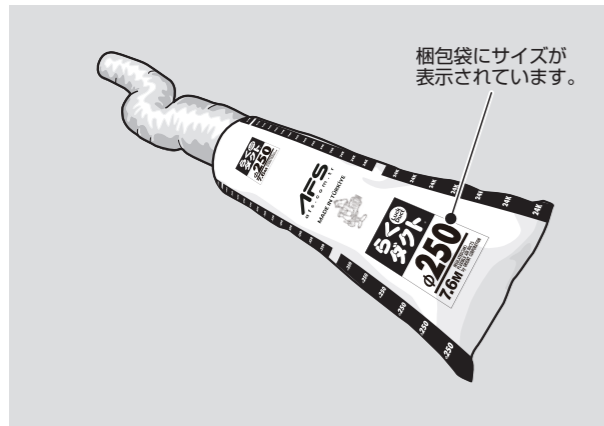
不要な摩擦損失を避けるために、ダクトを十分に伸ばし、接続箇所にあった長さにして下さい。



# らくダクト<sup>®</sup> 施工資料

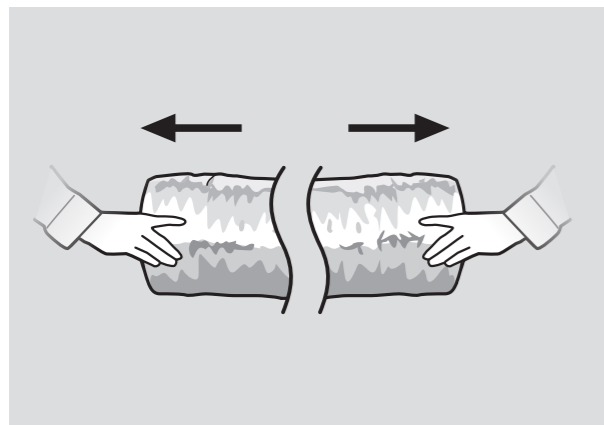


## 切断編



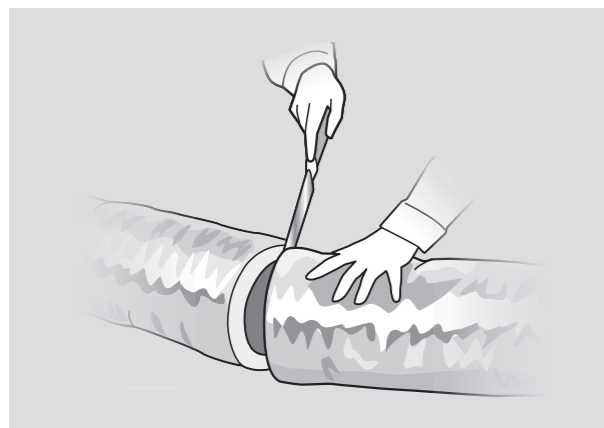
**1** 梱包袋に記載してあるサイズをご確認ください。

サイズを確認したら、開封しダクトを取り出します。

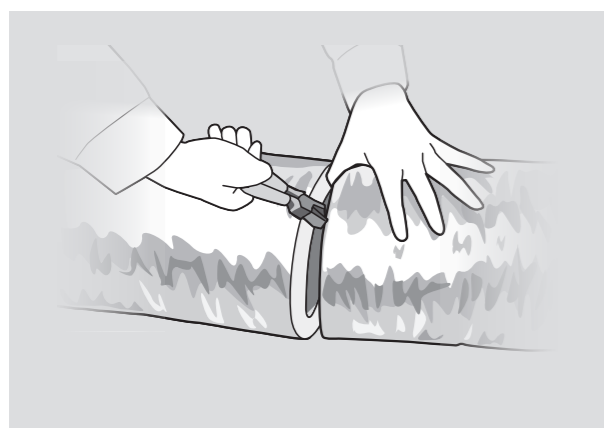


**2** 袋から取り出したら、インナーコア、グラスウール、アウタージャケットを揃えて両端を持ちしっかり伸ばします。

※1本の長さは約7.6mです。

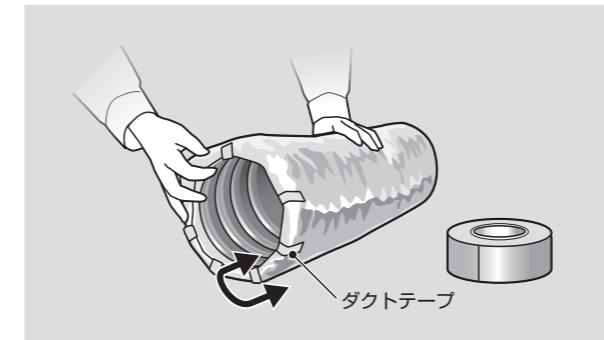


**3** 必要とするダクトの長さを測り、ナイフや大きめのハサミでカットします。

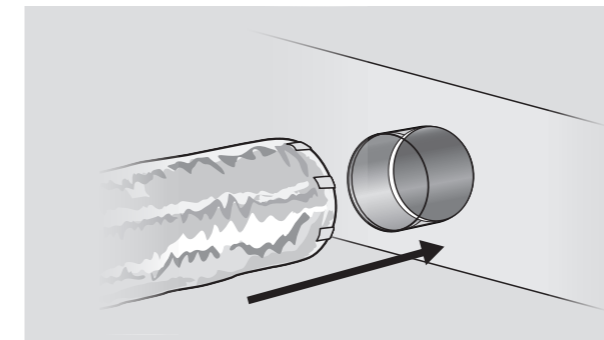


**4** インナーコアの鋼線はニッパーやワイヤーカッターで切断します。

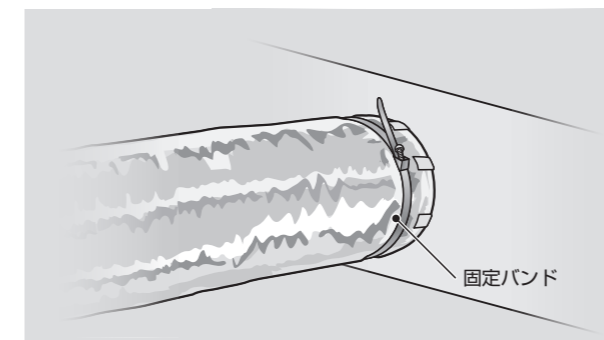
## 取り付け編（一例）



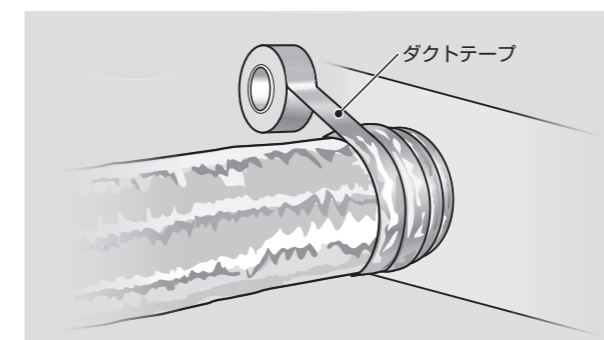
**5** ダクトテープでインナーコアとグラスウール、アウタージャケットがずれないように固定します。この時(4)で切断した鋼線小口もダクトテープで覆います。



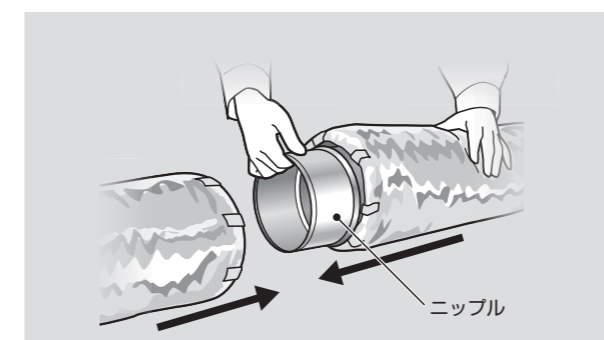
**6** 次に接続部分にダクトを差し込みます。  
※「らくダクト」の内径実寸は呼径より大きめになっています。



**7** 差し込んだら固定バンドで周囲をしっかりと締めてから止めます。



**8** 固定バンドの上から接続先にかけてしっかりとダクトテープを巻いていきます。この時ずれないように、できるだけ強めに巻いてください。



**9** 全体をチェックして、完了です。  
ダクト同士を接続する場合は、ニップルを取付けてから、(7)、(8)の作業を行なってください。

詳しくは、HPの「接続法」をご覧ください。  
<https://www.orientshoji.co.jp/rakuduct/stszk.html>

